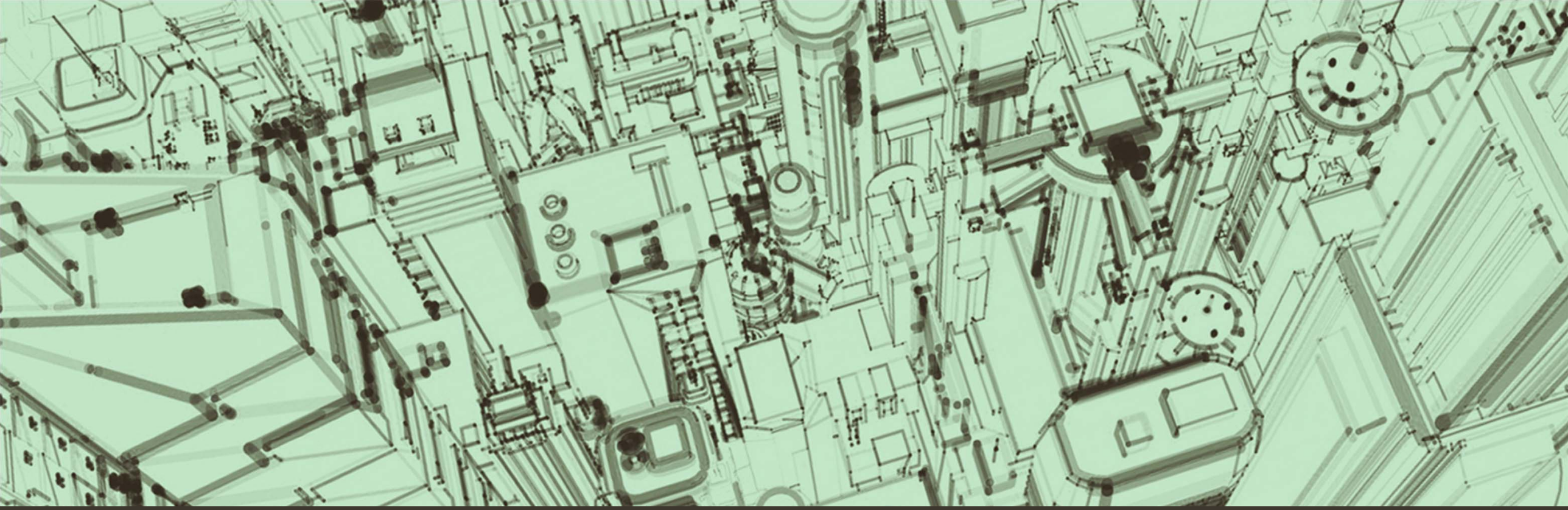
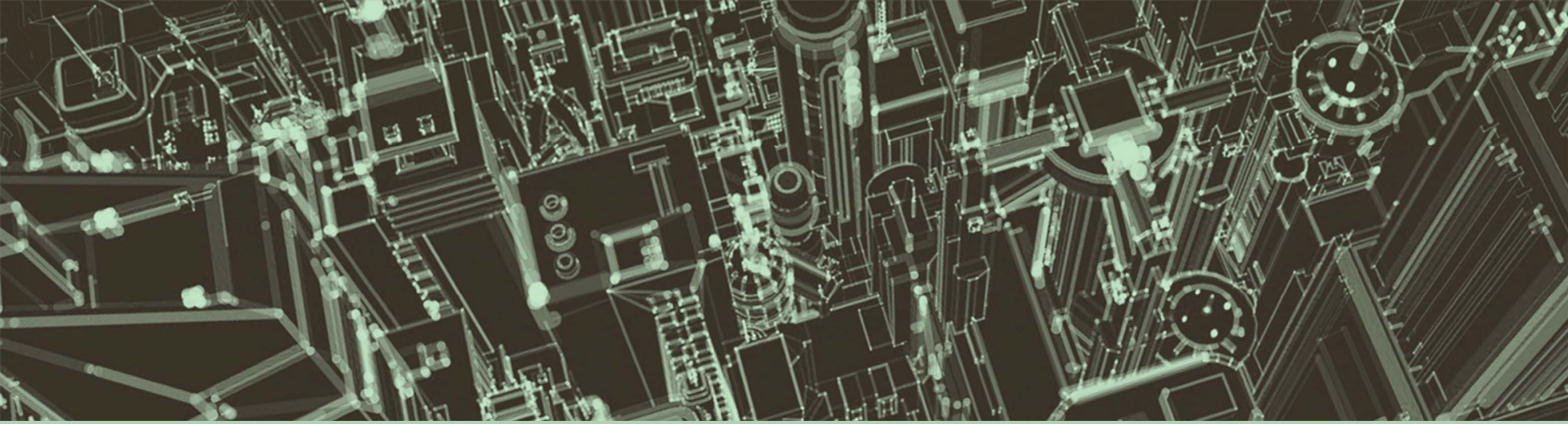


国際基準から考えるビジネスと人権

―リスク管理の変化と現代的奴隷制―

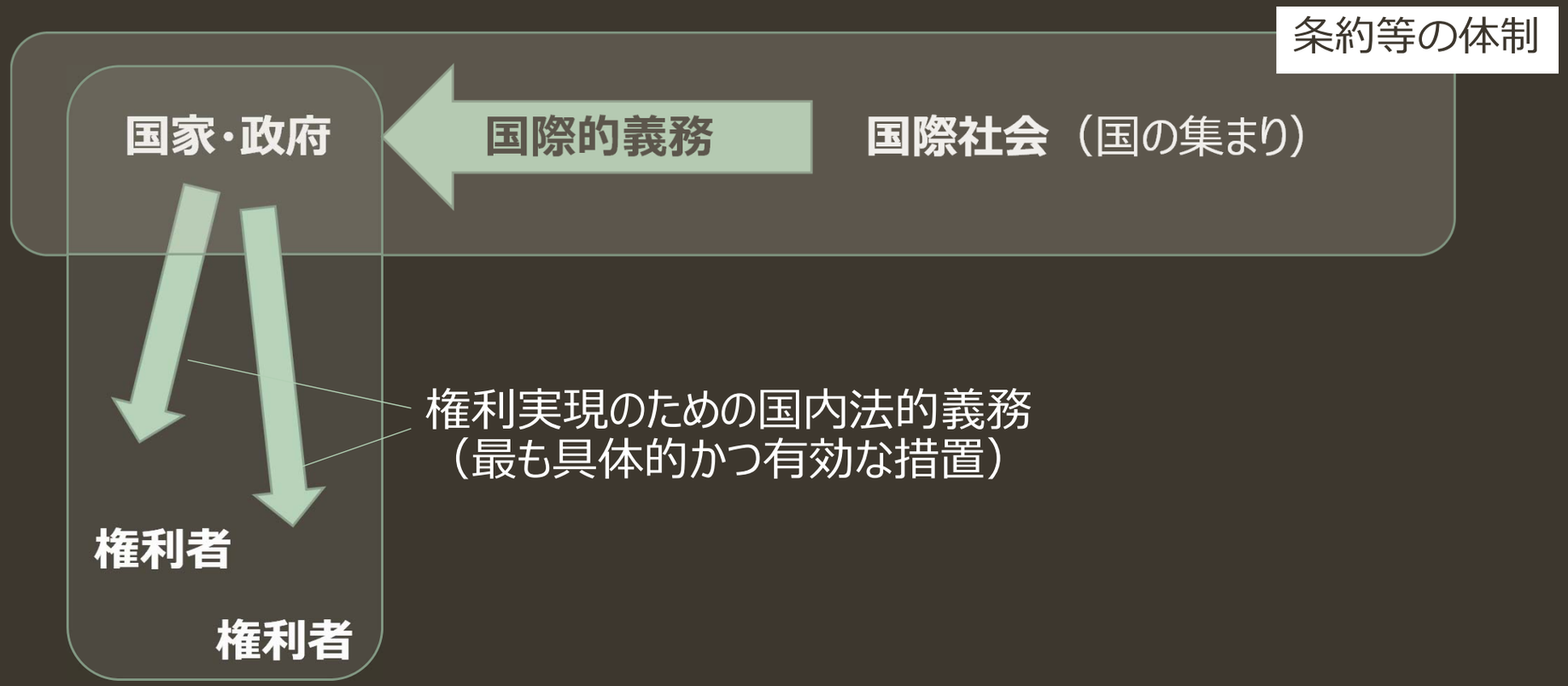
寺中　誠（東京経済大学）



ビジネスと人権の国際基準

国連指導原則の構造と実施（implementation）

国際法と国内法の体制



権利実現のための国内法的義務
（最も具体的かつ有効な措置）

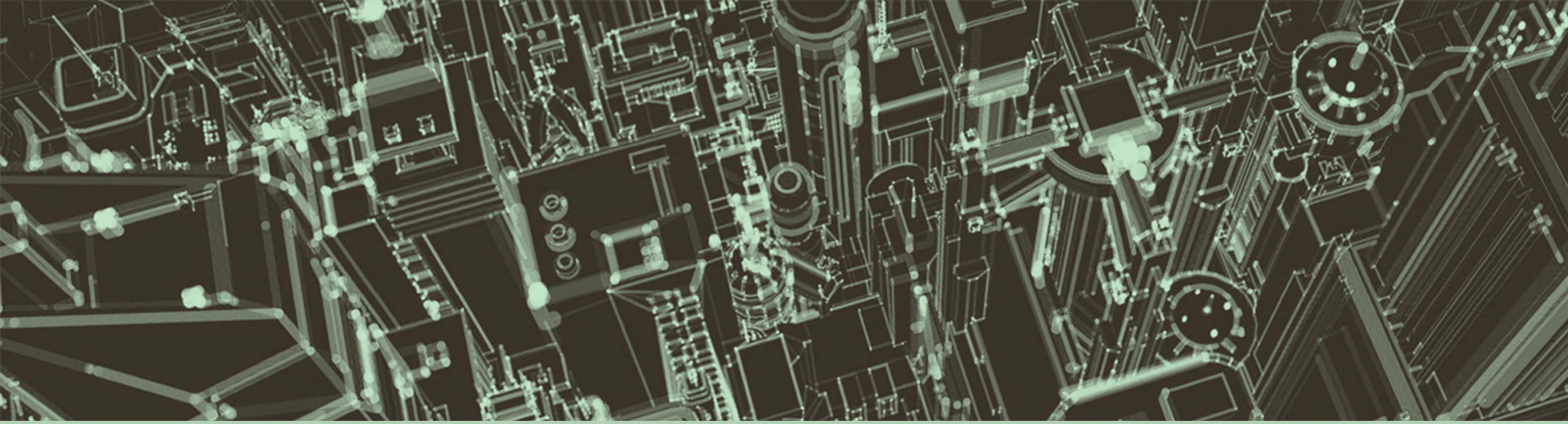
＊ しかし、企業は、この図には登場しない（＝非国家主体）

企業の巨大な影響力

- 巨大企業の影響力
- 企業群の影響力
- 企業社会の影響力
- 金融の影響力

- 影響力として考慮されなくてはならないのは、「集合」として企業が持つ影響力

- 投資や貿易に関わる国際的な紛争（国内の人権保障策が海外投資協定やWTOと衝突）
- 国際的な調整機能を持つ必要（ハードロー路線 ／ ソフトロー路線）



ラギーフレームワークと国連指導原則

ソフトロー路線への転換とハードロー路線の再興

責任規範（NORMS）の失敗

- 国連人権小委員会のビジネスと人権に関する作業部会のハードロー路線の文書（2003）
- 企業（”多国籍企業その他の企業”）に対し、国際的な人権尊重義務を課すことを目的とする
  cf. これまでの法的文書の枠から一歩踏み出した内容
- 2005年国連改革による人権理事会設置、人権委員会改組に伴い、小委員会制廃止
- 米国のブッシュ共和党政権下のBacklash
- NORMSの成果が継承されないまま、法的文書としての策定プロセスから外れてしまう

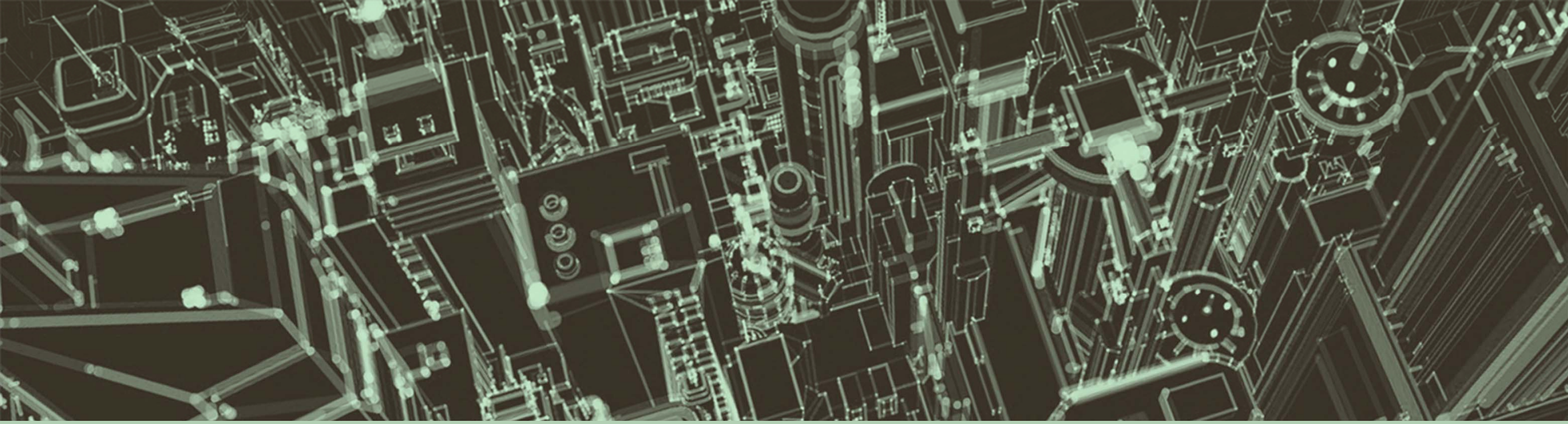
ラギーフレームワーク

- NORMSの失敗を横目に、2000年UN Global Compactによるソフトロー路線の強化策
- ジョン・ラギーハーバート大教授（国際政治）を事務総長特別代表（Special Procedureのひとつ）
- 2008年中間報告（通称：ラギー・フレームワーク）

- 国家の保護**「義務」**
  国際法上の義務主体はあくまでも国家
- 企業の尊重**「責任」**
  企業は国内法的な義務を国家を通して負っている／国際法領域はソフトロー路線
- 「救済」システム
  （人権保障**「実施」**のPrivatisation）　ただし、**国内人権機関（NHRI）**の存在を前提に設計

ビジネスと人権に関する国連指導原則（2011）

- ラギー・フレームワークを基に策定された規範（ガイドライン＝Guiding Principles）
- ベスト・プラクティス集の側面もある（到達目標であって、合法性を担保するための規範ではない）
- 実施のための努力義務（誠実遵守義務）は、あくまで一般規範として国家に課されている
- 各国は、国内人権機関（特に独立した国内の人権専門機関として持つ政策提言機能）を通じて、国内行動計画（NAP）を策定する
- 指導原則の大半は、制度設計に関わる国家の人権保障義務に関わる分野
- 企業の人権尊重責任（企業の社会的責任（CSR））の範疇に属する部分は、Due Diligenceと企業の影響力（直接影響と間接影響）評価（またはリスク管理）の部分に限られる
- 救済分野は、国内人権機関や他の国家的救済機関に加えて、企業内grievance手続の透明化



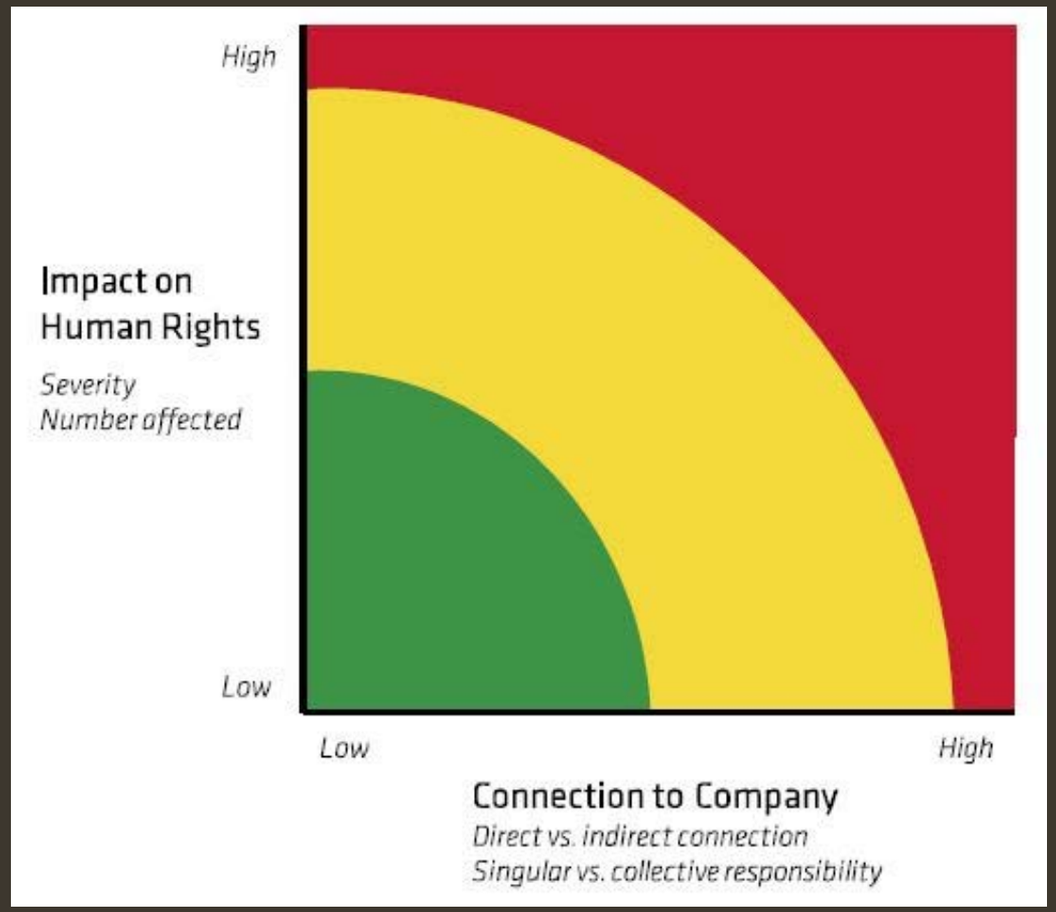
Due Diligenceとリスク管理

OECDガイドラインのアプローチとリスク社会分析

リスク管理（回避から管理へ）

- 「絶対的な安全は達成することができない。絶対的な安全は、基本権である自由を犠牲にするがゆえに、望ましいものですらない。」
  （Josef Isensse “Das Grundrecht als Abwehrrecht und als staatliche Schutzpflicht” 1992 (ドイツ「刑法ハンドブック」)）
- 「リスク＝回避」モデルは不可能。各種の要因間の調整を経た、リスクの分散管理が現実的。
- 事前にどの程度のリスク管理の努力をおこなっていたか？がリスク発生の際に評価される。
- リスクの評価に応じて、責任が配分される
- 発生頻度（Probability）と影響力の甚大さ（impact/leverage）の掛け合わせによる事前措置
- 極端に甚大な結果を招来する事項については、予防原則（Precautionary Approach＝科学的な因果関係が証明されていない場合でも、規制を優先する）を適用する。

リスク管理／評価の考え方



ハードロー路線の復興

- 再び法典化へ（国連総会決議）…ただし、先行きは不透明
- 各国法制の発展（紛争鉱物規制（米欧）・現代的奴隷制（英・欧））

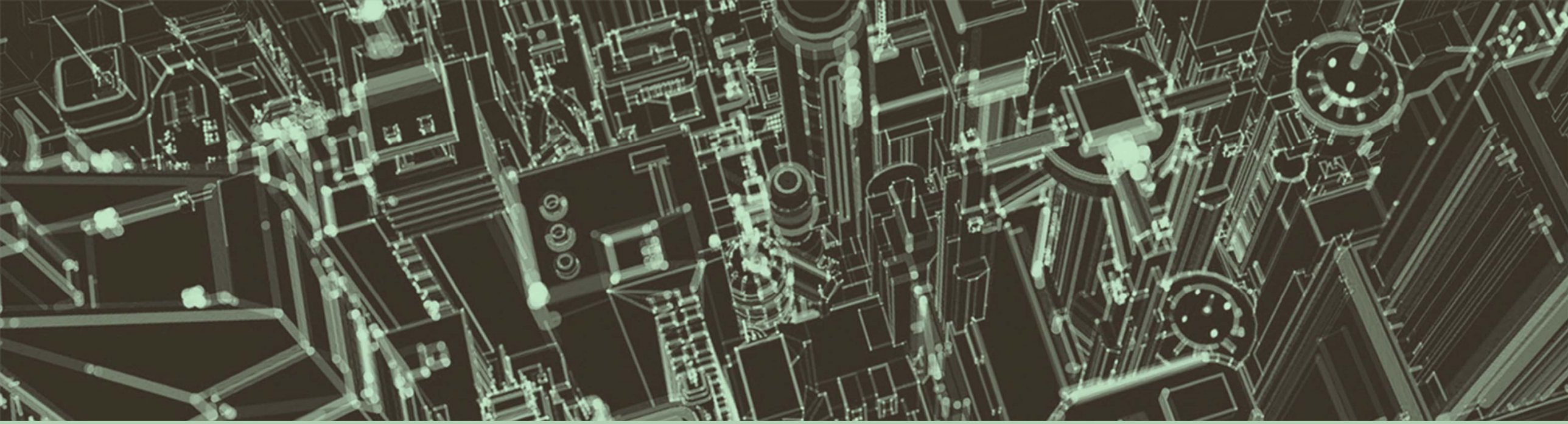
よくある「誤解」　×「良い企業の促進」（社会貢献、BOPビジネス、攻めのCSR）

×「悪い企業の統制」（リスク管理、処罰、新自由主義批判）

しかし、「ビジネスと人権」の目的は、あくまでも、

人権侵害の除去／被害者の救済

CSRはあくまでも手段

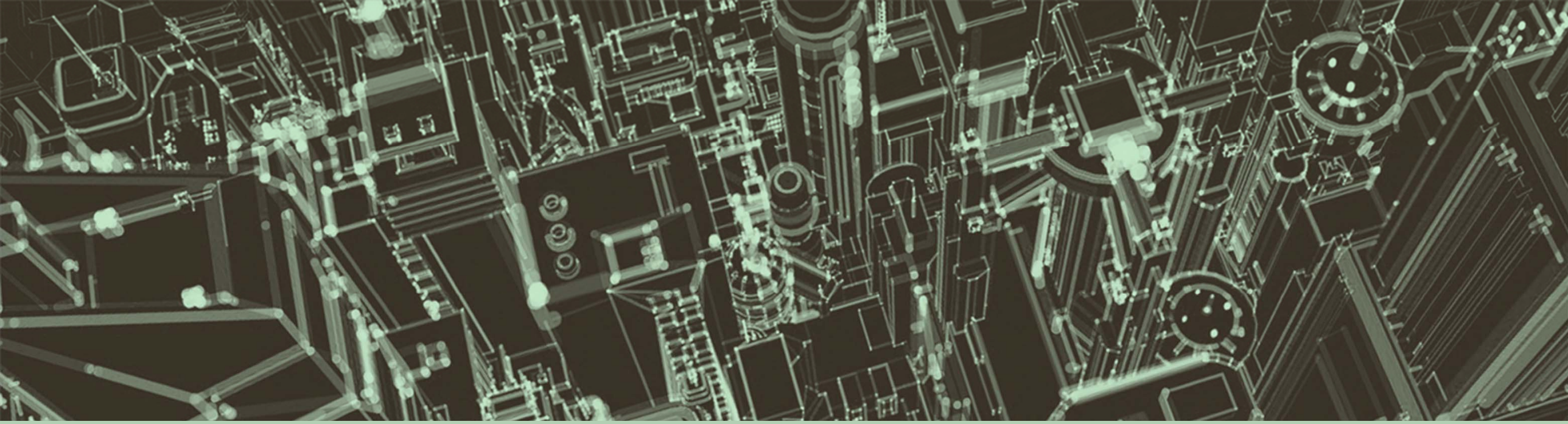


現代的形態の奴隷制

AccountabilityのモデルからDue Diligenceへ

「現代的奴隷」概念をCSRで使う

- 奴隷条約ファミリー　奴隷条約の拡張とその隣接課題
- ビジネスと人権に関する国際的規制　コミュニティの問題の重視
- ステートメントの策定　ステークホルダー分析とツール



奴隷条約ファミリー

奴隷条約の拡張とその隣接課題

「奴隷」概念

- 伝統的奴隷概念

  人間としての権利・自由を認められず，他人の所有物として取り扱われる人。所有者の全的支配に服し，労働を強制され，譲渡・売買の対象とされた。古代ギリシャ・ローマのもの，近代の北アメリカの黒人奴隷など。中国や日本古代の奴婢（ぬひ）もその一種とされる。（大辞林第3版）

- 本質面：「人権／自由が認められないこと」「他人の所有権下に置かれること」
- 現象面：「強制労働」「人身売買」「人格支配（全一支配）」
- Amazing Grace（John Newton, 1725-1807）→ Anti-Slavery International 1839～
  Thomas Clarkson, Thomas Fowell Buxton etc.
- 1890年ブリュッセル法（初の総合的奴隷禁止法）～ 苦力やペルーの先住民族奴隷などの廃止

奴隷条約から拡張された奴隷問題ファミリー（MS）

- 1926年奴隷条約（伝統的奴隷概念に立脚しつつも、現象面の解決に焦点）
- 国際連盟による初の人権条約（で、日本は？....）
- 「所有権」中心主義からの脱却→　①現象面（強制労働・劣悪な労働環境）重視
  ②農奴・債務奴隷への拡張（1953年）
- ターゲットの拡張（「白色奴隷」＝性産業・売買春問題→1910年婦女人身売買禁止条約）
  児童労働禁止（ILO）：児童労働の一般的禁止と最悪の形態の児童労働の絶対禁止
- 人種差別撤廃法制（アジア・アフリカ・アメリカ...）

- → ILO諸条約と国内労働法制
- → 差別禁止をめぐる諸規制
- → 性産業・人身売買をめぐる諸規制
- → 児童労働禁止（ILOから子どもの権利条約、SDGs...）

現代的奴隷制の定義

現代的奴隷制とは、

自分とは異なる別の人を、

使用したり、利益を上げたり、譲渡したり、処分したりすることで**搾取する**という目的で、

その人の個人の自由を奪い、占有ないし支配している状態、を指す

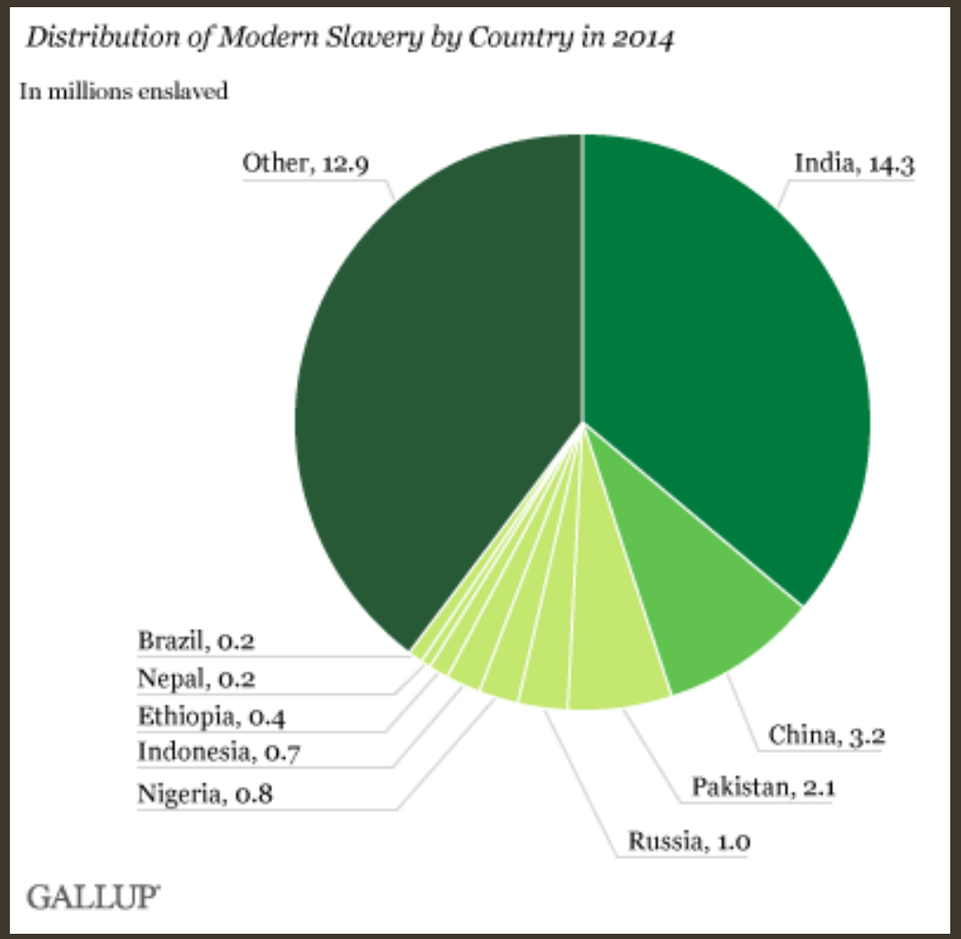
「搾取」目的から定義づけている。

現象面は多様で、所有概念だけでなく債務概念も用いていない。

搾取＝直接生産者本人に正当な対価が入らず、支配している他の主体がそれを得ること

世界の現代的奴隷制

- 現代的奴隷制の被害者は、3,580万人と言われている。
- GALLUP2014年の調査
- 61%が、インド、パキスタン、中国、ウズベキスタン、ロシアに居住している
- 業種については、さまざま。むしろ、対策を政策的に行っているかどうかが問われる傾向
- ところで、世界の児童労働の数は？

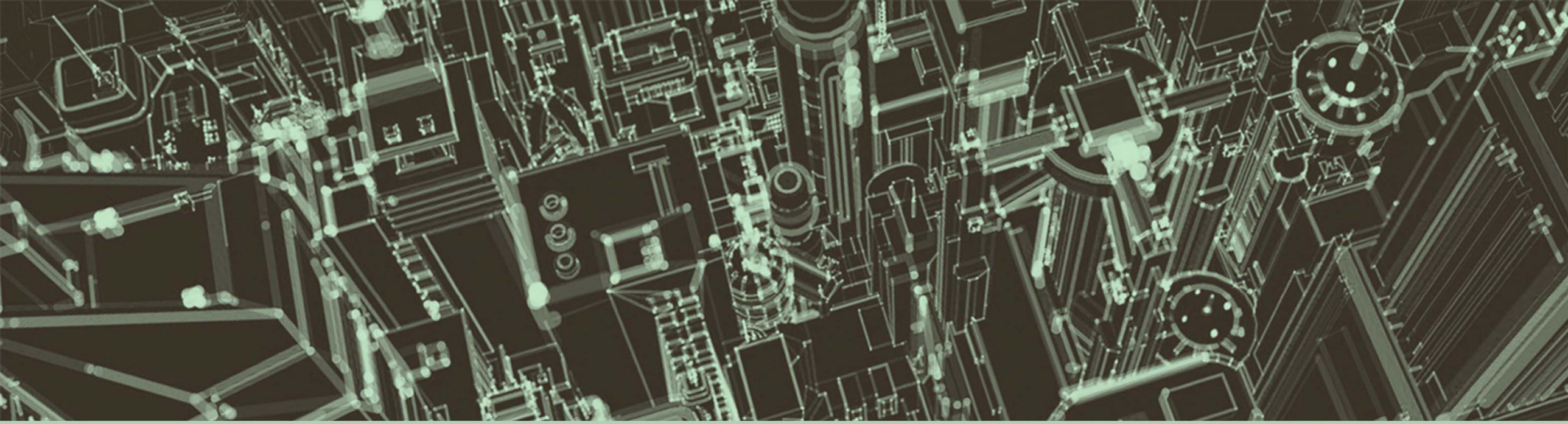


問題群（集合）としての社会問題

- それぞれの問題は単体として成立しているのではなく、「問題群」として表れる
- 親世代の失業と児童労働、現代的奴隷制の相関
- 相互の因果関係ではなく、政策・政治的意思の問題

Modern Slavery についての情報源

- Modern Slavery in SDG 2 https://www.freedomunited.org/our-impact/slavery-sustainable-development-goals-2/
- Global Modern Slavery index https://www.globalslaveryindex.org/
- Conflict Minerals in EU https://www.freedomunited.org/our-impact/conflict-mineral-abuses-eu/
- その他資料集リンク集 http://www.walkfreefoundation.org/resources/



ビジネスと人権に関する国際的規制

コミュニティの問題の重視

ラギー報告書が示した射程

- 現象面への法的規制に絞られていたそれまでのハード・ロー・アプローチからの転換
- 南アフリカのBBE（ブラック企業支援法！）などコミュニティレベルでのポジティブアクションの必要性
- 融資等による、債務を通じた支配力への懸念
- 移住労働者差別→グローバリゼーションの負の側面（地域コミュニティからの排除・差別）
- 第1次産業（漁業・農業）、家事労働分野の劣悪な労働環境と地域コミュニティの貧困状況

- 現象面のみならず、現代の労働社会の構造自体を「現代的奴隷制」として問題化する必要
- ただし、拡張する概念であり、厳密な定義にはまだ馴染まない→ソフト・ロー・アプローチ中心

企業活動への規制アプローチ

- ハードロー・アプローチ：
  2003年Norms（企業責任規範）の失敗を踏まえ、一旦ソフトロー・アプローチに移行
  2015年国連決議による「新たな法的枠組み」作業部会設置
  他に、腐敗防止条約との関連でタックス・ヘイヴン対策が展開中
  ILO諸条約などの労働規制

- ソフトロー・アプローチ：
  UN Global Compact、OECD Guidelines、その他の地域的、分野別のイニシアティブ
  その集大成としての、UN Guiding Principles（ビジネスと人権のための国連指導原則） etc.
  指標やKPIによる管理（human rights indicators）

- 国レベルの規制タイプ①：
  米国の紛争鉱物規制、ダイヤモンドのキンバリープロセス、環境面の物質規制（対象トラッキング）

- 国レベルの規制タイプ②：
  労働規制と連動する形での企業の自主努力を促すアプローチ→**2015年英国現代的奴隷法**

紛争鉱物規制のインパクト

- ドッド=フランク法1502章の射程は、コンゴ民主共和国の4種の鉱物のみ
- ただし、鉱物資源の原産国追跡（トラッキング）制度は、あらゆる国、あらゆる鉱物に適用可能
- サプライチェーン管理を企業秘密とすることは被害コミュニティを危機に陥れる
- 指導原則等は、デュー・ディリジェンスによって透明性を確保した管理を求めている
- 川上では、タグ付けされた袋により、コミュニティレベルで管理→現地の統制の回復→安定化
- 4種鉱物以外では、次に銅・コバルトと中国企業の不透明性が標的となっている
- なお、鉱物採掘での児童労働は、ILO条約では「最悪の形態の児童労働」として禁止されている

2015年現代的奴隷法

- 人身売買、強制労働、搾取に対する対策（追及Pursue-予防Prevent-保護Protect-準備Prepare）
- **英国で事業活動を行い**、**年間連結売上高3600万ポンド(約48億円)以上**の企業が対象
- 2016年3月末以降、毎会計年度終了後に、**Statement**（宣言文書）の**開示義務**（ウェブ等で）

a. 組織の構造と事業内容、サプライチェーン

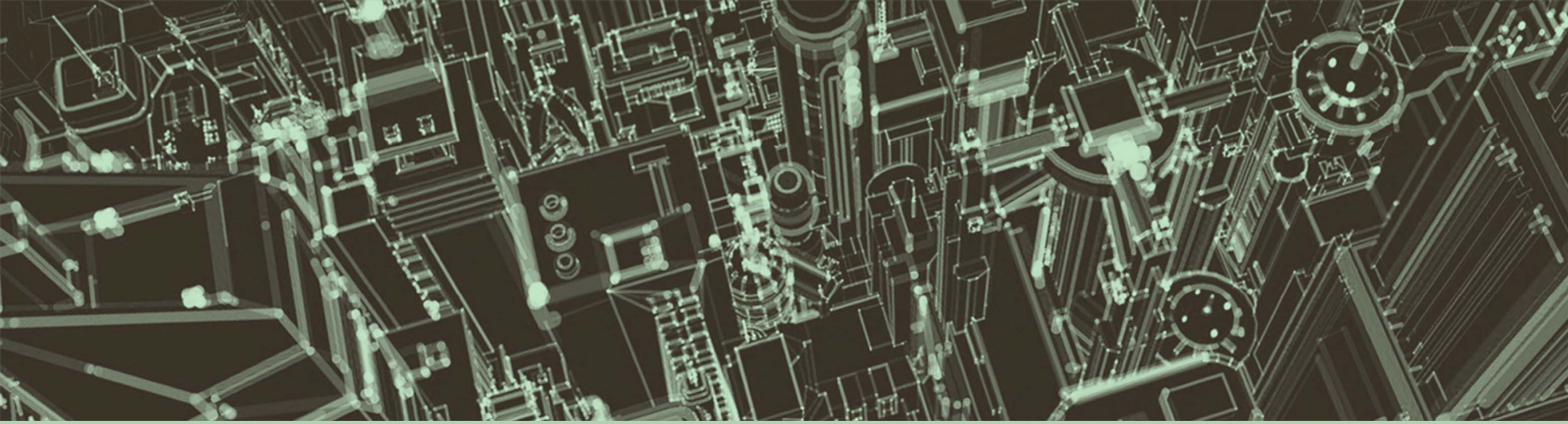
b. 現代的奴隷制に関わる社の方針

c. 事業とサプライチェーンにおける現代的奴隷制の防止に係るデュー・ディリジェンス手続

d. 現代的奴隷制に関わる可能性のある事業分野、サプライチェーンのリスク評価・措置

e. 現代的奴隷制防止について、社のパフォーマンス指標で測定・評価

f. 現代的奴隷制に関する社内のトレーニング



ステートメントの作り方と研修

ステートメント策定のステークホルダー分析とツール

Statement（宣言文書）の策定作業

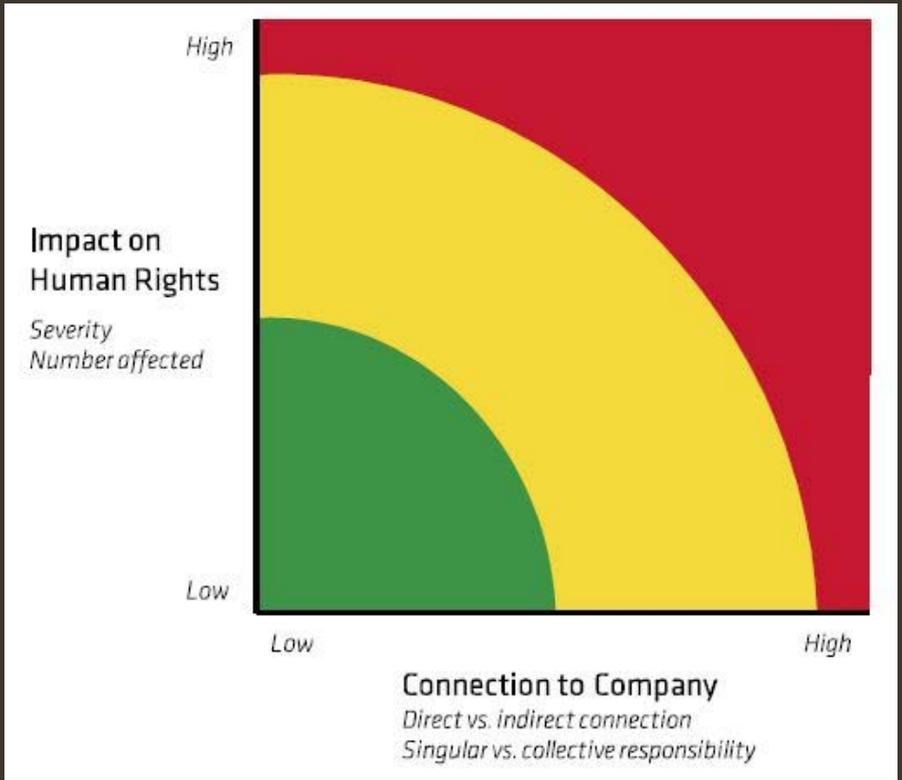
1. **当該企業の事業分野・業務フロー（a）**
2. **それぞれについて現代的奴隷制に該当しそうな分野を特定する（d）**

3. 問題発生時には企業内でどのようなフローで処理されるかを想定（C）
4. それぞれの部署で必要な知識レベルを想定（f）
5. 各事業現場でKPIとして具体化（e）

6. **現代的奴隷制の廃絶のための全社的な戦略の立案（b）**←（最終獲得物）

Statement策定のための準備作業

- **経営者**は、自社の事業分野とサプライチェーン上での、「現代的奴隷制」との関わり具合をリスク評価
- リスクの区分



TOOL 4:
UNDERSTANDING INDUSTRY RISK

This list compiled by the US State Department of Labor highlights the good and services that are produced by child and forced labour for every country.[72] This can be used by companies when assessing supplier risk by country and industry.

AFGHANISTAN	**BRICKS** · CARPETS · COAL · POPPIES
ANGOLA	**DIAMONDS**
ARGENTINA	BLUEBERRIES · BRICKS · COTTON · GARLIC · **GARMENTS** · GRAPES · OLIVES · STRAWBERRIES · TOBACCO · TOMATOES · YERBA MATE
AZERBAIJAN	COTTON
BANGLADESH	BIDIS · BRICKS · **DRIED FISH** · FOOTWEAR · STEEL FURNITURE · GLASS · LEATHER · JUTE TEXTILES · MATCHES · POULTRY · SALT · SHRIMP · SOAP · TEXTILES
BELIZE	BANANAS · CITRUS FRUITS · SUGAR CANE
BENIN	**COTTON** · CRUSHED GRANITE
BOLIVIA	**BRAZIL NUTS/CHESTNUTS** · BRICKS · CATTLE · **CORN** · GOLD · PEANUTS · SILVER · **SUGARCANE** · TIN · ZINC
BRAZIL	BEEF · BRICKS · CASHEWS · **CATTLE** · CERAMICS · **CHARCOAL** · COTTON · FOOTWEAR · GARMENTS · MANIOC/CASSAVA · PINEAPPLES · RICE · SISAL · SUGARCANE · TIMBER · TOBACCO
BURKINA FASO	**COTTON** · **GOLD**
BURMA	**BAMBOO** · **BEANS** · **BRICKS** · **GREEN BEANS** · **JADE** · PALM THATCH · PHYSIC NUTS/CASTOR BEANS · **RICE** · **RUBBER** · **RUBIES** · SESAME · SHRIMP · **SUGARCANE** · SUNFLOWERS · **TEAK**
CAMBODIA	BRICKS · CASSAVA · FISH · RUBBER · SALT · SHRIMP · TOBACCO
CAMEROON	COCOA
CENTRAL AFRICAN REP.	DIAMONDS
CHAD	CATTLE
CHINA	ARTIFICIAL FLOWERS · **BRICKS** · CHRISTMAS DECORATIONS · COAL · **COTTON** · **ELECTRONICS**· **FIREWORKS** · FOOTWEAR · GARMENTS · NAILS · TEXTILES · **TOYS**
COLOMBIA	CLAY BRICKS · COAL · **COCA** · COFFEE · EMERALDS · GOLD · PORNOGRAPHY · SUGARCANE
COTE D'IVOIRE	**COCOA** · **COFFEE**
CONGO, DEM. REP.	**CASSITERITE** · **COLTAN** · COPPER · DIAMONDS · HETEROGENITE · **GOLD** · **WOLFRAMITE**
DOMINICAN REPUBLIC	BAKED GOODS · COFFEE · RICE · **SUGARCANE** · TOMATOES
ECUADOR	BANANAS · BRICKS · FLOWERS · GOLD
EGYPT	COTTON · LIMESTONE
EL SALVADOR	COFFEE · FIREWORKS · SHELLFISH · SUGARCANE
ETHIOPIA	CATTLE · GOLD · **HAND-WOVEN TEXTILES**
GHANA	COCOA · **FISH** · GOLD · **TILAPIA**
GUATEMALA	BROCCOLI · COFFEE · CORN · FIREWORKS · GRAVEL · SUGARCANE
GUINEA	CASHEWS · COCOA · COFFEE · DIAMONDS · GOLD
HONDURAS	COFFEE · LOBSTERS · MELONS
INDIA	BIDIS · BRASSWARE · **BRICKS** · **CARPETS** · **HYBRID COTTONSEED** · **EMBELLISHED TEXTILES** · FIREWORKS · FOOTWEAR · **GARMENTS** · GEMS · GLASS BANGLES · INCENSE · LEATHER GOODS/ ACCESSORIES · LOCKS · MATCHES · **RICE** · SILK FABRIC · SILK THREAD · SOCCER BALLS · **STONES** · THREAD/YARN
INDONESIA	FISH · GOLD · PALM OIL · RUBBER · SANDALS · TOBACCO
IRAN	CARPETS
JORDAN	GARMENTS
KAZAKHSTAN	**COTTON**
KENYA	COFFEE · MIRAA · RICE · SISAL · SUGARCANE · TEA · TOBACCO
KYRGYZ REP.	COTTON · TOBACCO
LEBANON	TOBACCO
LESOTHO	CATTLE
LIBERIA	DIAMONDS · RUBBER
MADAGASCAR	SAPPHIRES · STONES
MALAWI	TEA · **TOBACCO**
MALAYSIA	GARMENTS · PALM OIL
MALI	COTTON · GOLD · **RICE**
MAURITANIA	CATTLE · GOATS
MEXICO	CHILE PEPPERS · COFFEE · CUCUMBERS ·EGGPLANTS · GREEN BEANS · MELONS · ONIONS · PORNOGRAPHY · SUGARCANE · TOBACCO · TOMATOES
MONGOLIA	COAL · FLUORSPAR · GOLD
MOZAMBIQUE	TOBACCO
NAMIBIA	CATTLE
NEPAL	**BRICKS** · **CARPETS** · **EMBELLISHED TEXTILES** · **STONES**
NICARAGUA	BANANAS · COFFEE · GOLD · GRAVEL · PUMICE STONE · SHELLFISH · TOBACCO
NIGER	CATTLE · GOLD · GYPSUM · SALT · TRONA
NIGERIA	**COCOA** · **GRANITE** · **GRAVEL** · MANIOC/CASSAVA · SAND
N. KOREA	BRICKS · CEMENT · COAL · GOLD · IRON · TEXTILES · TIMBER
PAKISTAN	**BRICKS** · **CARPETS** · **COAL** · COTTON · GLASS BANGLES · LEATHER · SUGARCANE · SURGICAL INSTRUMENTS · WHEAT
PANAMA	COFFEE · MELONS · SUGARCANE
PARAGUAY	BRICKS · CATTLE · COTTON · LIMESTONE · PORNOGRAPHY · SUGARCANE
PERU	BRAZIL NUTS/CHESTNUTS · BRICKS · COCA · FIREWORKS · FISH · **GOLD** · TIMBER
PHILIPPINES	BANANAS · COCONUTS · CORN · FASHION ACCESSORIES · FISH · GOLD · HOGS · PORNOGRAPHY · PYROTECHNICS · RICE · RUBBER · SUGARCANE · TOBACCO
RUSSIA	**PORNOGRAPHY**
RWANDA	TEA
SENEGAL	GOLD
SIERRA LEONE	COCOA · COFFEE · **DIAMONDS** · GRANITE · PALM OIL
S. SUDAN	**CATTLE**
SURINAME	GOLD
TAJIKISTAN	**COTTON**
TANZANIA	CLOVES · COFFEE · GOLD · NILE PERCH · SISAL · TANZANITE · TEA · TOBACCO
THAILAND	FISH · **GARMENTS** · PORNOGRAPHY · **SHRIMP** · SUGARCANE
TURKEY	CITRUS FRUITS · COTTON · CUMIN · FURNITURE · HAZELNUTS · PEANUTS · PULSES · SUGAR BEETS
TURKMENISTAN	**COTTON**
UGANDA	BRICKS · CATTLE · CHARCOAL · COFFEE · FISH · RICE · SUGARCANE · TEA · TOBACCO · VANILLA
UKRAINE	COAL · PORNOGRAPHY
UZBEKISTAN	**COTTON**
VIETNAM	BRICKS · **GARMENTS**
ZAMBIA	CATTLE · COTTON · GEMS · STONES · TOBACCO

現代的奴隷制/ビジネスと人権方針策定用資料

- 評価プロセスのためのガイダンス文書 https://s3-us-west-2.amazonaws.com/business.walkfree.org-assets/content/uploads/2016/01/21153421/TacklingModernSlaveryInSupplyChains20141.pdf
- 評価ツールガイド http://business.walkfreefoundation.org/
- リスク評価ツール一覧　http://business.walkfreefoundation.org/#tools

リスクに関するポリシー＝Accountability

- リスクの評価
- ステークホルダー（被影響者/群）の評価プロセスへの参加
- 複合要因の分析
  cf.　複合侵害　ある企業単体での影響が小さくても、外部環境、文化、他企業の影響などを加えると甚大な影響が生じ得るような場合。（モンゴルでのカナダ資源企業群の活動など）
- リスク分散：国家ー企業間、各企業間、企業内でのリスク管理担当の明確化とスコープ
  ex.　企業内の各部局の責任体制のスコープ（次頁）
- Due Diligenceの明確化とResponsibilityの体制の構築
- 外部との共有＝ステートメント

STAKEHOLDER	LEVEL OF INFLUENCE	ENGAGEMENT METHOD	DELIVERABLES	TIMING
Executive Board	High	Business Case and Strategy	Approval for Supplier assessment program.	
Budget owners	High	Business Case and Strategy	Commitment, support and resourcing towards Supplier assessment program.	
Procurement team	Medium	Written and verbal communication Training Access to online portals	Understanding on what is modern slavery, legislation and guiding principles. Understand strategy. Understand amendments to sourcing process to assesses suppliers.	
Contract Managers	High	Written and verbal communication Training Access to online portals	Understanding on what is modern slavery, legislation and guiding principles. Understand amendments to Contracting process to manage high risk suppliers.	
Suppliers	High	Written and verbal communication Training Access to online portals Access to Hotline	Understanding on what is modern slavery, legislation and guiding principles. Implementation of relevant policies and compliance requirements.	
Purchasing staff	Low	Written communication Standard Operating Procedures	Understanding on what is modern slavery, legislation and guiding principles.	
Policy and Risk teams	Low	Written communication	Drafting of Policy to comply with company requirements.	

例：企業が使用しているコンデンサの部品に児童労働が…？

- 広報担当者が知っておくべき情報レベル
- 一般の人事研修の際にカバーすべき情報レベル
- 経営陣への報告の際にカバーすべき情報レベル

業務フローの見直し→ KPI設定

- 各自が判断の際に必要となるはずの根拠資料
- 情報収集の際に御社が利用できる／すべきルートは？

- → ステートメント（人権方針・戦略）が記述するべき内容は？